

協働に関する取組（第32条）

条文の意図（第32条 協働推進の施策整備等）

- ・市民との協働による市政の取組を通じての公共的な課題の解決が重要。
- ・すでに地域で活動している市民活動や市民事業が支えられ、活動や事業が創出されることを担保する施策の推進が求められる。
- ・具体的には、市民活動支援指針をもとに、公共をそれぞれの主体が協働して積極的に担っていく環境を整備するための施策の整備と体系化が必要。

相互に
関係情報共有に関する取組
（第23条）

- ・市民との情報共有の観点から、広範な市民が主体的にまちづくりに参加し、協働することができるよう制度構築を考える必要がある。

協働推進に向けた取組状況について

協働型事業のルール（平成20年2月策定）

- 策定の背景 社会経済環境の変化による地域課題の複雑化、多様化が進む中、さまざまな市民ニーズに沿った質の高いサービスを実現する手法の一つである市民活動団体との協働の取組を推進することが重要となってきた。
- 取組状況 「協働型事業のルール」の周知や協働推進窓口（平成20年7月設置）の効果的な運営により、協働型事業の推進を図るとともに、協働型事業に対する共通認識を深めるための取組として、協働型事業の一覧及び事例集を作成し、冊子・ホームページでの公表を行っている。

●運営状況

協働型事業の数

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
184	179	185	165	168

市民活動支援指針に基づく取組

- 取組状況 「川崎市市民活動支援指針」（平成13年9月策定）に位置付けられた「川崎市市民活動推進委員会」が、指針に基づく事業の推進や市民活動の具体的な支援の実施を目的として、平成14年1月から、5期10年間活動を行ってきた。それに対し、市は、4つの活動資源の柱（活動の場、資金の確保、人材育成、情報の共有化）を中心とした支援を行ってきた。

区における協働の取組

地域課題対応事業 区役所が主体となって、区民の参加と協働により、地域の抱える課題解決や地域の特性を活かした事業などを各区において実施。※7区で291事業（24年度）

●これまでの経緯

- 平成13年度以前 「区政推進事業」として、協働による地域の課題解決を実行
- 平成14年度 「魅力ある区づくり推進事業」に名称を変更（予算各区5,000万円）
- 平成18年度 「協働推進事業」に名称を変更（予算を各区5,500万円に増額）
- 平成23年度 「地域課題対応事業」に名称変更し、区の課題解決に向けた取組予算と統合。予算権限を区長に付与

地域における事業者との協働、その他の取組事例

○特別緑地保全地区における企業等との協働による里山保全の取組

- ・「特別緑地保全地区」に指定された緑地（平成25年3月現在66地区）の内、市が所有する19地区については、地域の住民・市民活動団体等との協働により保全管理計画を策定し、里山管理活動に取り組んでいる。
- ・平成25年2月には、新たに「かわさき里山コラボに関する要綱」を定め、市と企業等が覚書を締結した上で、保全管理計画を策定する段階から協働により緑地保全を実施する取組を進めている。
- ・「久末東特別緑地保全地区」では、平成25年5月10日に、企業、地域の市民活動団体及び市の3者による覚書を市内で初めて締結。今後、3者が連携して緑地保全に取り組む。



久末東特別緑地保全地区での作業の様子

○川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会（平成24年9月設置）

- ・大規模地震等が発生した場合の川崎駅周辺における滞留者による混乱の抑制に向けた官民の連携強化の場として、協議会を設置（43機関が参加）。
- ※第3回協議会（平成25年1月開催）において、委員による図上訓練（ワークショップ）を実施。

○川崎駅周辺地区商店街協定（平成24年3月締結）

- ・川崎駅前の12商店街が、「誰でも楽しく歩く街を形成する」ことを目的として、路上看板や路上での商品展示、放置自転車、客引き行為や荷捌き等について、協定を締結。

今後の課題と方向性

●市民活動支援指針の改訂の必要性

（背景）中間支援組織の設置等、指針に掲げられた多くのテーマに対応してきたこと及び社会環境の変化に起因する市民活動を取り巻く課題の変化
（予定）平成25年6月頃から 庁内検討会議を4回程度開催し、情報交換、今後の方向性についての協議等を実施する。

平成26年1月頃から 指針改訂検討委員会を6回程度開催し、改訂に向けた柱の検討、現状把握、今後の方向性についての協議を実施する。

●その他の課題

行政内での協働の意識醸成（本庁レベルでの協働推進・研修の実施・協働の定義の明確化）、協働を担う市民の育成
市民活動団体以外との協働のルールの整備 等